

3 総括会議、閉幕式

(1) 交通問題実務者会議報告

福岡市総務局長（アジア太平洋都市サミット事務局代表） 井 上 剛 紀

それでは、アジア太平洋都市サミット事務局を代表いたしまして、私の方から昨年福岡市において開催された「交通問題実務者会議」について報告させていただきます。

本会議は、1995年10月26日（木）と27日（金）の2日間、10カ国・地域、20都市から42名の参加者を得て開催されました。テーマはアジア太平洋地域の都市における交通マネジメント（交通運営施策及び需要の抑制）でありました。

まず初めに26日の会議についてですが、参加都市を代表しまして広州市、那覇市、釜山広域市、シンガポール、福岡市の5都市から各都市の事例を発表していただき、発表を基に参加者全員で意見交換を実施いたしました。

発表していただいた内容は、広州市からは交通渋滞を緩和するための対策として道路網の改造や幹線道路交差点の立体化、車両増加を抑制するためのナンバープレートによる規制、自転車使用制限の推進、バスなど公共交通機関の利用促進について、那覇市からは軌道系の交通機関がなく大量輸送機関としては乗合バスのみであるためにバスを魅力ある交通機関とするための様々な施策について、また、将来の軌道交通としてのモノレールの導入計画や那覇市交通マネジメント推進協議会について、釜山広域市からは独自の地形に由来する道路化率の低さなどを克服するための軽電鉄やトンネルの建設計画の促進について、急激に増加する乗用車を規制策としての「乗用車10部制」とカープール運動の推進について、シンガポールからは「シンガポールにおける交通戦略と運営管理」と題して合理的な土地利用、適切かつ効率の良い道路網の構築、効率的な公共交通機関の開発について、シンガポールの過去の経緯を踏まえながら今後の戦略について発表していただきました。そして、福岡市からは現状と課題をはじめとし交通マネジメントの施策の取り組みや交通マネジメントのあり方、併せて昨年実施されたユニバーシアード福岡大会で市民コンセンサスづくりを重点目標として行われた「スムーズ福岡運動」についてお話をいただきました。

各都市とも都市の歴史的、地理的、社会的、経済的な背景は色々と異なりますが、それぞれの状況の中において交通運営管理について抱える問題を知恵を絞りながら懸命に克服しようとする前向きな姿が明確に浮き彫りにされました。そして、意見交換においては参加者全員による活発な議論や意見交換を通じて相互理解が一層深められ、多くの情報を得ることが出来大変意義深い会議となっております。

翌27日の行政視察ですが、朝9時にはバスにて出発し福岡都市高速、九州縦貫道、北九州都市高速道路を経由して北九州市内にある「交通科学館」を訪問しました。交通科学館では、モノレールについての説明を受け説明後にモノレールに試乗しました。昼食後には様々なアトラクションを通じて宇宙を体験することができるアミューズメントパークの「スペースワールド」を視察しました。そして、スペースワールドのある北九州市から新幹線と地下鉄を使用して、夕刻福岡市内へと戻っ

て参りました。日本の交通の現状を、北部九州の一部区域ではありましたが各種の交通施設を体験することでいくらかでもご理解いただけたことと思います。

短い2日間ではありましたが、この実務者会議で得られました情報や一定の成果を参加者全員が持ち帰り、歴史的背景等の違いもあるので直ちに活かすということは出来ないかもしれませんが、各都市の交通政策に何らかの形で活用するように努めようとの相互認識に至りました。そして、この会議を契機に交通政策を所管している実務者同士が相互に交流を深め交通問題解決に向けての相互交流・相互協力を今後とも推進しようということも共通認識として得られておりますので報告させていただきます。

最後になりましたが、事例発表にご協力いただきました5都市に対して、また、視察について多大なるご支援をいただきました北九州市に対して改めてお礼を申し上げます。

そして、実務者会議に職員を派遣してくださいました各都市の代表者の皆様には、ご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます次第です。

以上を持ちまして、交通問題実務者会議についての事務局からの報告を終わらせていただきます。

(2) 分科会議報告

第1分科会「将来の都市計画と都市建設」

バンコク市知事諮問委員会議長 プラサジ・ソンスラペット

議長、ご出席の皆様、私の方から午前中にあった第1分科会「将来の都市計画と都市建設」について報告させていただきます。大連市、広州市、鹿児島市、マニラ市、宮崎市、大分市、釜山広域市、シンガポール、バンコク市のそれぞれの都市から発表していただきました。

まず初めに、この分科会が大変有意義な会議であったことを申し上げます。多くの経験を共有し合い、忌憚なく意見を交換し合いました。その要点は次のとおりです。

まず第一点ですが、バンコク市が紹介した汚水処理に関することです。これは、私の経験ですが、汚水処理についてバンコク市は様々な面において非常に適切な措置をとっています。そして、この措置を具体的に実施するために汚水処理システムを設計しました。

次に広州市に関することを申し上げますと、広州市は、生態環境を自然な状態で保つ必要性を強く主張しました。自然を良好な状態で維持していくこと、また、川や山や海辺などすべての風景を保全することが重要であるとのことでした。そして、このことを都市計画に組み込むことが肝要であると発言されました。固形廃棄物の処理については、これらの廃棄物を回収して処理することは大切なことではあるが、再利用、再生利用を推進することも大事であるとのことでした。バンコク市においても固形廃棄物を肥料として再利用しています。その他の都市からは、固形廃棄物からエネルギーを回収する方法も紹介されました。

次は、自動車による交通渋滞についてです。多くの都市で頻繁に見られる状況ですが、交通渋滞は実際のところバンコク市では大変深刻な問題です。バンコク市では最近、道路の整備を含めた街並み改造計画が新たに打ち出されたところがあります。宮崎市とマニラ市からは、適切な措置をとって交通渋滞問題を解決しなければならないということが強調されました。そして、交通渋滞から発生する大気汚染や生態環境の破壊などについても対策を講じるべきだとの発言がありました。釜山市やその他の都市から、国際的な都市に生まれ変わるためには、生まれ変わりながらその一方で様々な伝統的生活スタイルも保存することが大切であるとの意見がありました。そして、子供や老人のために生活空間を残すべきだという景観保存の重要性が強調されました。

次の要点は、都会の復興と改造についてです。これは、マニラ市と大分市の方から出されたものです。娯楽施設やその他の施設が都市の欠かせない魅力の一つとなっていることや、その他、様々な興味深い建築上のことについて議論されました。確かにこれらの都市は文化的にも非常に魅力ある都市に成長してきたと思われます。これらの都市の発表を通じて、建築物を保存する面においても、非常に重要なノウハウがあるということがよくわかりました。また、シンガポールとバンコク市から、都市のインフラ計画に民間企業を参加させるべきだということ、そして建築プロジェクトにおいて民間セクターがもっと積極的に関わっていくこと、こうしたことが望ましいとの発言がありました。

以上申し上げたことが、主なポイントです。

最後に付け加えることがあります。それは、この分科会に参加した各都市代表の発言が非常に活

発であったということです。自由討議の時間はわずか15分間しかありませんでしたが、この15分においても活発な議論が交わされました。そこで私は、もっと議論が出来るように時間をとっていただくことを提唱したいと思います。以上です。ご出席の皆様、私に座長を指名していただき、ありがとうございました。

第2分科会「現代都市の環境保護」

オークランド市長 レス・ミルズ

議長、ご来場の皆様、そして広州市の皆様、ありがとうございます。私の方から「現代都市の環境保護」の分科会で討議した結果を報告させていただきます。この分科会には、広州市、ホーチミン市、香港、北九州市、上海市、ウルムチ市、オークランド市の代表者が参加しました。これらの都市の状況はそれぞれ異なっており、上海市のような大都市もあれば、オークランド市のような人口規模の小さな都市もあります。オークランド市の人口は、わずか100万人です。しかし、環境保護の問題は、各都市ともに共通したテーマで、どの都市もこの共通テーマに直面しております。私は、皆さんが発表した内容を詳しく報告することは省略しますが、分科会の席で皆さんが活発に発表し、議論し合い、問題を出し合っていたということを先ず初めに申し上げたいと思います。

次に議論の内容ですが、廃棄物の処理について如何にして汚染産業を都市の中心部から郊外部に移転させるかが話題になりました。汚染産業に対して、休業・廃業・禁止の政策をとっても良いという発言もありました。また、水路の改修についても話し合いました。この中で、コストについても言及されました。さらに、人々の意識の中には環境問題を重要視していない面がかなりあるのではないかとの発言もありました。我々には、経済発展と並行して公共の利益を阻害しない方法で環境保護を遂行していく責務があります。未来の世界には、きれいな水、きれいな空気がなければなりません。

さて、本日の午前中の分科会で得た私の印象ですが、各都市の発表の中で回答を見出すことが出来たように思います。つまりそれは、政治経済などの構造を変えるには様々な方法があり、また、目標達成の段階においても様々な方法がありますので、歩む道は異なるかもしれませんが、目的は一つしかないわけですから我々がより一層議論し、お互いの経験を学び合うことは非常に有意義だと言うことです。先ほどバンコク市のプラサジ議長から報告がありましたように私も彼の意見に心から賛成いたしております。シンポジウムを開催するときには、出来るだけ多くの時間を議論に費やした方が良いと思います。最後の一時間が最も有益だったと思っています。以上です。ありがとうございました。

第3分科会「都市の近代化と伝統文化」

福岡市長 桑原敬一

「都市の近代化と伝統文化」の分科会の報告をさせていただきます。この分科会には、広州市、イポー市、ジャカルタ特別市、クアラルンプール市、佐賀市と私ども福岡市の6都市が参加いたしました。

まず事例発表の概要ですが、福岡市からは私が発表いたしました。福岡市とアジア太平洋地域との歴史的な繋がりについて「7つの国際化の波」に基づきお話するとともに、歴史的伝統的文化財の保護などについて説明いたしました。また、その都市固有の歴史や伝統文化を検証することから、まちづくりの方向性を学ぶべきであるという私の考えを披露いたしました。広州市からは、悠久の歴史を持つ優れた中華民族の文化と伝統をさらに発揚して近代化に役立てるために努力している様々な取り組みについて、具体的には①歴史的文化遺産の保護を積極的に推進すること②民族文化と観光業との連結を図り魅力ある都市を創造すること③五講四美運動などを展開させて人々の精神文化を高揚すること、などについてお話ししていただきました。イポー市からは、人類の際限ない欲望により物質面では豊かさを享受することができるようになってきましたが、反面、精神面での墮落が顕著になってきているとの警鐘がなされました。そして、近代化と伝統文化の調和を図るためにまた次世代に優れた道徳精神を継承していくために、イポー市が積極的に取り組んでいる諸施策について紹介していただきました。ジャカルタ特別市からは、多様な人種、民族、文化から成り立っているジャカルタ市の現状を紹介していただき、ジャカルタ特有の文化・芸術を国家のアイデンティティとして位置付け国民の社会文化生活に従う形で伝統文化を保護・開発してきた諸施策についてお話ししていただきました。クアラルンプール市からは、歴史的経緯を踏まえてクアラルンプール市独特の建築物、例えば、宗教建築物、公共建築物、或いは個人住宅などについて紹介していただくとともにこれらの伝統的・歴史的建築物の保存について具体的に説明していただきました。又、多民族により構成されているという特色を生かした都市づくりについても言及していただきました。佐賀市からは、経済効率優先の弊害の反省に立ち伝統的建築物や街並み景観など貴重な文化財を整備・保全するために展開している「よみがえれ佐賀展」や「長崎街道歩こう会」などの事業について、また、大局的な見地から整備・開発・保全といった社会行動を制御しようとする「佐賀市景観条例」についてお話ししていただきました。事例発表については、以上のとおりであります。

次に自由討議では、各都市から事例発表をさらに補足するための発言があったほか活発な意見が取り交わされました。そして国際連合の頼首席事務官から各市がそれぞれの都市の特徴を活かしながら相互に学び合い理解を深めていくことが重要であるとの指摘がなされました。

全体を要約すると、近代化と伝統文化とを融合調和させることは大変難しく多くの努力と長い時間を要しますが、より魅力的な都市へと創造していくためにはその努力を惜しまず、今後ともお互いに情報を交換し協力していこうとの共通の認識に至りました。

以上で「都市の近代化と伝統文化」の報告を終わります。

(3) 全体会議報告

広州市市長代理 林 樹 森

各都市の代表者の皆様、ご列席の皆様、参加各都市のご協力のもと第2回アジア太平洋都市サミットは三日間の活発な活動を経て、ここに終了することになりました。このたびの会議は、1994年9月に福岡市で開催された第1回アジア太平洋都市サミットを引き継いで発展させたものであり、アジア太平洋都市の友好関係史上大きな出来事の一つとなりました。第1回会議のあと、今回の会議のテーマをどのように定めるかは、参加各都市が一様に関心を寄せた事柄でありました。多くの都市との幾多の摺り合わせを経て、特に福岡市総務局国際部（サミット事務局）との度重なる検討の末に「21世紀における都市の発展」を全体会議のテーマとし、さらに「将来の都市計画と都市建設」「現代都市の環境保護」「都市の近代化と伝統文化」を分科会議のテーマといたしました。このたびの会議はアジア太平洋地域の都市の交流と協力を一層強化し、21世紀における共存・共栄を促進するために開催されたものです。参加各都市のご努力により、相互理解を促進し、友情を深め、コンセンサスを得て積極的な成果をおさめ、友好協力関係の継続発展を促進するための良好な基礎づくりを確立することができました。

参加各都市はいずれもアジア太平洋地域が人類の進歩と科学文化の発展に傑出した貢献を行っていることを自認しております。現在、当地域は世界の中でも発展のスピードが速く、活力に溢れ、多様性に富んでいます。重要な戦略的位置にある、経済成長が速い、各国・各都市の情勢に特色がある、それぞれが独自の歴史文化を有している、などがその主な特長です。これらの特長がアジア太平洋地域に様々な政治・経済体制と観念形態を存在させ、個性溢れる姿を形作っています。アジア太平洋地域の急激な発展は世界の注目するところであり、重要な意義を持ち、世界の平和と発展に大きく貢献するものであります。

都市はその地域の政治、経済、文化の中心であり、その急速な発展が地域の繁栄と安定に非常に重要な役割を果たしてきました。21世紀のアジア太平洋地域の都市がさらなる発展を遂げていくにつれ、その地位と役割はますます重要になっていくことでしょう。アジア太平洋地域の都市の首長として、誰もが自らが担う歴史的使命感と都市管理面での重大な責任を感じているところであり、市民の利益や都市の繁栄のために、アジア太平洋地域の都市の首長は、市民や社会そして次世代の人々に対して責任を持つという心構えで、たゆみなくクリエイティブに仕事を行い、21世紀の都市の発展のために尽力する覚悟です。

今回の会議で、21世紀におけるアジア太平洋地域の都市の発展は良好な基礎と大きな潜在力を備えてはいるが、環境汚染や失業問題、交通渋滞、暴力犯罪といった多くの問題にも直面しているとの指摘がありました。これらの問題が解決されなければ、市民の福祉に大きな影響があるばかりか、21世紀のアジア太平洋地域の都市の発展の妨げにもなることでしょう。参加各都市の首長は、一連の有効な措置をとって、都市の発展に支障をもたらす社会的経済的な問題を抜本的に解決するように努力する決意です。

歴史的、或いは現実的な要因のために、アジア太平洋地域の各都市の経済状況や発展段階は様々な異なっています。しかしながら、いずれも総合力をつけて都市問題を解決し、市民の生活レベルを引き上げていくという共通の任務に直面しています。アジア太平洋地域の都市は互いを尊重し大

同小異のもとに学び合い、協力して共に発展するべきですし、またそれを成し遂げることもできます。会議において、アジア太平洋地域の都市相互の経済関係を強化することは、友好協力関係を発展させるための重要な基礎となるとの認識にいたりました。アジア太平洋地域の都市の経済は比較的強い補完性を持っており、貿易や文化交流が活発になってきたために、都市相互の協力は非常に見通しが明るい状況にあります。互いに利し合い、長所を生かすという前提のもと、経済協力を重点にすると同時に技術、文化、政治やその他の分野での協力を推進することは、アジア太平洋地域の都市の利益に合致し、この地域の繁栄に有益であると思います。

このたびのサミットに参加した代表者達は、1992年の国連『環境と開発に関するリオ宣言』『アジェンダ21』『森林原則声明』等の重要な文書が現在の人類社会の継続発展という新思想を十分体现化しており、世界各国が協力を実施しようという政治的同意を反映していると考えています。これらの文書は、アジア太平洋地域の都市にとっても同じように積極的な指導的意味を持っており、21世紀にはアジア太平洋地域の都市も継続発展の道を歩まねばならないのです。我々が従事している仕事は、現在の発展の必要性を考えると同時に子孫に生存と発展の空間を残すことであります。参加各都市の首長や代表は、それぞれの都市の実践状況を踏まえ、それにふさわしい継続発展のための戦略や計画、政策を策定して実施にもっていき、人類社会が立ち向かおうとしている共通の挑戦のためにそれぞれの努力を払わねばならないと表明しました。

環境保護は、国際社会が注目している問題であり、全人類の共同の責任であります。このたびのサミットでも多くの代表が、現在多くのアジア太平洋地域の都市、特に発展途上国の都市が環境保護の面で極めてゆゆしき状況にあると指摘しました。従って、相応の対策を定めて効果的な措置をとり、環境汚染問題を解決することは、多くのアジア太平洋地域の都市の当面の責務であります。21世紀において都市が継続的に発展を遂げるために、我々は今までと同様、環境保護方面の国際条約と本国の関連の法律をきちんと執行し、それに応じた責任と義務を負うべきであります。

都市計画は、都市建設を推進するための基本前提であり、都市建設の推進は、都市発展全体において最も重要な要素の一つであります。各都市の状況はそれぞれ異なるため、都市計画や都市建設を一つのモデルを用いて進めることは出来ません。各都市はそれぞれの現状から出発し、客観的な規律を自主的に遵守し、独自の特色を保持するよう努める一方で、他都市の先進的な経験に学ぶよう努力しなければなりません。このことが、都市建設と社会経済の発展にバランスを持たせ21世紀における継続発展という目標に合致させる唯一の方法であります。

現在のところ、アジア太平洋地域の都市はいずれも近代化を進めているところですが、一方ではそれぞれ特色ある伝統文化を持っています。近代化と伝統文化の関係をきちんと処理することは、21世紀のアジア太平洋地域の都市の発展にとって重要な課題であります。近代化は、都市が必ず歩む道であり、人類の発展の潮流と市民の利益に合致します。しかし、我々は歴史を絶ち切ることはできないし、また、優れた伝統文化を捨て去ることもできません。事実、アジア太平洋地域の都市の特色ある優れた伝統文化は、その都市の発展に広範で深遠な影響を与えており、今後もその影響は続くことでしょう。会議の中で各代表は、このようなコンセンサスに基づき、優れた伝統文化を継承・発揚させて、近代化と伝統文化を結合させれば、アジア太平洋地域の都市により一層の活力と魅力を保持させることができると自信に満ちた発言を行いました。

この3日間の会議における発言と広範囲にわたる交流を振り返ってみますに、得られたコンセン

サスと提案は以下の4点に集約することができます。

- (1) アジア太平洋地域の都市は、互いに尊重し、大同小異のもと平等互恵の精神で、アジア太平洋都市サミットを継続して開催し、交流と協力をさらに発展させる。
- (2) アジア太平洋地域の都市の経済的な多様性を踏まえて、相互に補完し合い、経済協力を主に、短期間のうちに経済協力面で実質的な大きな進展をみるように努力する。
- (3) 考えかたに幅を持たせ、協力の領域をさらに拡大し、経済協力を重視するばかりではなく、技術や文化、政治などの分野での交流・協力関係を開拓する。行政間の協力を拡大するとともに、積極的に市民同士の友好交流をも推進させる。
- (4) アジア太平洋地域の都市の門戸を広げる。より多くの都市がアジア太平洋都市サミットに参加するように努める。アジア太平洋地域の都市の協力を深めると同時に、地域以外の都市との交流や協力も拡張していく。

このたびの会議を終えるにあたって、皆様のご健勝とアジア太平洋地域の都市の友好関係が発展していくことを祈念いたします。

(4) 参加都市代表挨拶

シンガポール国家開発省政務次官補 リム・ソー・ピング

広州市長代理の林先生、広州市元市長の黎先生、そしてサミットにご列席の皆様、私どもシンガポール代表団にこのような席で第2回アジア太平洋都市サミットの参加都市を代表してご挨拶をさせていただく機会を頂戴し、大変光栄に思っているところです。

まず初めに、参加都市を代表して、林樹森広州市長代理に感謝の意を表します。このサミットを開催していただき、また、広州において素晴らしいご手配をしていただき、心から感謝申し上げます。また、広州市民の暖かい歓迎にも感謝いたします。

広州市は、このサミットを企画運営するにあたって非常に効率良く実行され、大成功へと導きました。私達は、お互いに啓発し、情報交換を行い、都市の発展創造について意見を交換しました。このたびのサミットの最大の成果は、私達が市民により素晴らしい生活をもたらすとともに、希望に満ちた21世紀を迎えることを可能にしたということです。サミットは、私達に素晴らしく、且つ、際限ないチャンスを提供してくれました。私は、全ての都市が共に繁栄することを願っております。中秋の名月が円なるように、私達は、今、様々なチャレンジに直面しています。都市でのより良い住宅や公共施設、また、より良いインフラ施設、さらには近代的な技術の活用などがありますが、同時に環境も保護しなければなりません。文化的遺産も保全しなければなりません。こうした作業に成功すれば、私達は夢を実現したと宣言することができるでしょう。私達は、サミットにおいて、お互いに意見を交換し計画も交換しました。私は全ての参加都市の首長を代表して発言する立場であると自負しておりますが、皆様は、林市長代理の発言にご賛同していただけるものと確信いたしております。私達は、21世紀に向かって共通した夢を追求しなければなりません。自分の都市の特徴や特質を考えなければなりません。第2回目サミットは私達の相互関係をより一層改善し、より一層都市の水準を向上させました。また、私達は、豊富多彩な意見を交換し、お互いの計画も交換し、それを通じて相互の友情を深めることもできました。友好的な雰囲気のもとに、参加者全員が共に素晴らしい都市建設のために尽くそうという願いを込めて広州宣言を採択しました。この宣言は私達の共通の信念を代弁しております。それは即ち、私ども市民により良い生活環境を提供することです。広州宣言は、私達により多くの原動力をもたらし、市民により多くの経済的社会的な進歩をもたらすことでしょう。

最後になりましたが、今回のサミットには、特別な深い意味があったと思います。花の都市広州市において中秋節の名月の夜に開催され、素晴らしい花と円なお月様が一緒になり、まさに花良しお月円なりであります。本当にこれ以上素晴らしいことはありません。このことは、素晴らしい将来を象徴しているように思われます。このようにサミットが成功したことについて林市長代理に感謝する次第です。お陰様で、こうして皆が一堂に会し、都市の発展に貢献することが出来ました。ご列席の参加都市の代表者の皆様にも感謝を申し上げます。黎子流元市長にも感謝を申し上げます。

終わりに、皆様の家族のご多福と広州市の一層の繁栄を、そして、皆様方のご成功をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。

(5) 第3回サミット開催都市挨拶

福岡市長 桑原敬一

福岡市長の桑原でございます。去る9月28日から本日まで、3日間にわたり開催されました第2回アジア太平洋都市サミットは、ご参加の皆様のご協力を得て大成功のうちに閉幕を迎えました。これもひとえに広州市長代理の林樹森様と元市長の黎子流様をはじめ、広州市の皆様のご尽力と各都市のご協力の賜と心から感謝申し上げます。

さて、次回第3回目のアジア太平洋都市サミットを福岡で開催させていただくことになりましたが、このことは、大変名誉なことであり、光栄なことと存じております。広州市における第2回会議の大成功を受け継ぎまして、サミットの開催理念である「アジア太平洋の都市の連携とネットワーク」の更なる構築をめざし、来るべき21世紀におけるアジア太平洋地域の持続可能な発展に向けて、有意義な会議となりますよう最大限の努力をいたす考えであります。

福岡市は、歴史的地理的特徴を活かし、21世紀に向け「海に開かれたアジアの交流拠点都市」をめざし、アジアとの交流を積極的に推進しており、特に九州の中核都市として、エアポート、シーポート、テレポートの建設などハードとソフトの整備、さらにはホスピタリティの涵養などを進めるとともに、豊かな自然や古い時代から引き継がれている伝統文化の保存や復元にも努めております。また、本市は、新鮮な魚介類にも恵まれ、食べ物のおいしい住みやすい魅力ある都市として多くの市民から愛されている都市でもあります。こうした福岡市の姿を第3回会議のご出席の際には是非とも皆様方に肌で感じていただき、ご理解していただきたいと願っております。

130万人の福岡市民を代表いたしまして、福岡での第3回のアジア太平洋都市サミットに是非ご出席いただきますようご案内申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(6) 第4回サミット開催都市挨拶

釜山広域市長 文 正 秀

私は、釜山市長の文正秀でございます。このたび第2回アジア太平洋都市サミットにおきまして皆様と一緒に「21世紀における都市の発展」というメインテーマのもとに、真剣かつ活発な討議を展開し、21世紀のアジア太平洋地域の都市発展に関する共通認識に到達するなど大変有意義な会議を執り行うことが出来ました。この会議を開催するためにご尽力いただきました広州市長代理の林樹森様及び広州市元市長の黎子流様、並びに広州市関係者の皆様に感謝の意を表します。

このたびのサミットで私が非常に光栄に思いましたのは、2000年における第4回目のアジア太平洋都市サミットが釜山広域市で開催されると決定したことです。サミット参加都市の皆様がご支持くださったことに心から感謝を申し上げます。

大韓民国釜山広域市は、サミットの理念と目標を尊重し、参加都市の一層の繁栄のために鋭意努力したいと思っております。第4回アジア太平洋都市サミットを成功させるためには、皆様のご協力とご支援が不可欠であります。どうぞ多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、サミットに参加されましたすべての都市のご繁栄とご列席の皆様のご健勝を祈念しまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(7) 閉幕のことば

中国共産党広州市委員会書記（会議組織委員会顧問） 高 祀 仁

各都市の代表者の皆様、ご来賓の皆様、注目を集めた第2回アジア太平洋都市サミットは本日成功裡に幕を閉じました。この3日間にわたる参加各都市のご努力の結果、今回の会議は多くの合意に至り、積極的な成果をおさめて、アジア太平洋地域の各都市の友好的な協力関係に良好な基礎を確立いたしました。先ほど、会議組織委員会主任の一人である林樹森氏が全体会議の報告の中で主な成果を概括され、その後、参加都市の各代表の総意のもとに歴史的に意義深い『広州宣言』が採択されたところであります。これらはすべてアジア太平洋地域の都市の共存・共栄の新たな里程標となることでしょう。

現在の世界のテーマは「平和」と「発展」です。多極化の趨勢はますます進展し、地域間協力は日増しに活発化しています。アジア太平洋地域は現在世界で最も発展のスピードが速い地区で、多様性に富み活力に満ちた地域です。近年、アジア太平洋地域の協力は絶えず強化され、経済の発展にはめざましいものがあります。アジア太平洋地域の繁栄と安定は世界の平和と発展に大きく貢献しています。

都市はアジア太平洋地域の経済発展の主要基地であり、政治、文化、テクノロジー活動の中心地です。経済の著しい成長と都市化の急激な進展によってアジア太平洋地域の都市も次第にその数を増やし、規模も拡大の一途を辿っています。放射力は日に日に増大し、当該地区で大きな役割を果たすようになりました。都市は自らの更なる発展に伴い、アジア太平洋地域、或いは世界における役割を今後ともますます強化していくことでしょう。

現在のところ世界はますます開放されています。ある国家、ある都市の発展と繁栄のためには、外に向かっての開放が必須であります。過去の歴史は我々に「門戸を閉じた状態で建設を行っても発展は望めない」ということを教えています。アジア太平洋地域の都市には様々な経済や政治体制そして観念形態が存在していますが、同時に経済や文化の面で比較的強い補完性を持っています。この多様性と補完性、そして平和な国際環境、安定した国内秩序がアジア太平洋地域の各都市の交流と協力のために必要条件を創り出しています。アジア太平洋地域の各都市が今後も繁栄と発展を続けるために、さらに開放を進め、他の都市、特にアジア太平洋地域の都市との交流と協力を強化するために我々は努力すべきであります。アジア太平洋地域の都市が互いに交流し、学び合い、協力すれば、長所に学び短所を補って共に発展し、互いに助け合い共に利益を得ることができれば、その前途は洋々たるものでしょう。このたびの会議では、互いに尊重し、開放し、互いを利し、長所をのびし短所を補う、というのが既に参加各都市首脳のコンセンサスとなっております。そして連携を強め、友誼を深め、広く協力して共に発展を目指すことが共通の念願となっております。我々は手を携えて、この会議を契機に、実質的に効果のある措置をとり、アジア太平洋地域の都市間の交流と協力関係を新たなステージに引き上げるべきだと思います。

21世紀は目前に迫っています。21世紀に向かうアジア太平洋地域の都市がいかにチャンスをつかみ発展を進めるか、直面している困難や問題を乗り越えるかは研究と解決が待たれる大きな課題です。発展というのは動かせない方針であり、継続発展が我々の進む方向です。これまでの経験や教訓をまとめた結果、継続発展を実現していくのはアジア太平洋の都市にとって、自ずと必要なこと

であり、必然の選択であるということがますますはっきりと認識されました。アジア太平洋地域の都市はそれぞれの実状から出発し、人口、社会、経済、資源そして環境の協調した、今の人々を満足させ、これからの世代の必要を満足させる能力にも支障をきたさない継続発展の道を模索するよう努めるべきです。

アジア太平洋地域の都市が継続発展を実現するためには、本当に実のある交流と協力、特に経済の領域でのそれを展開する必要があります。継続発展を進める過程では、各都市の実状から出発し、特色を生かし、特に優れた伝統文化の保護、継承、発展を重視しなければなりません。それが市民の根本利益に符合し、歴史的発展の潮流に順応する道であります。我々には、それが本地区の発展のための大きな推進力となり、同時に世界の文明と進歩に益すると信ずる理由があります。我々アジア太平洋地域の都市の指導者は、それぞれが形勢を見極め、強い使命感と責任感を持って歴史の負託に応え、21世紀のアジア太平洋地域の都市の継続発展に貢献しなければなりません。

広州市はアジア太平洋地域の都市の一員であり、このたびの会議のホスト役として、参加各都市の首長や代表、そして国連のスタッフをこの会議にお招きし、21世紀のアジア太平洋地域の都市の発展に関する大きな課題を討論研究することができたことを大変光栄に思っています。この会議を通して、多くの貴重な経験を学び取り、多くの友好都市や友人と知り合うことができました。我々の目標は21世紀前半までに広州市を近代化された国際都市にすることです。多くの困難や問題に遭遇しようとも、我々は前途に対して自信に溢れています。広州市の発展は中国からも、世界からも切り離せないものであり、アジア太平洋地域の都市との交流と協力なくしてはあり得ない、と我々は十分承知しています。アジア太平洋地域の都市やその他の都市が広州市に投資を行い、事業を興されることを心から歓迎いたします。また広州市の建設に対して引き続き貴重なご意見を賜りたいと思っております。皆様が今後もたびたび広州市に来られますことをお待ちしております。さらに各都市の指導者及び市民同士の友好が深まることを期待しています。

ありがとうございました。